

ドルトン東京学園 中等部・高等部

中学入試

住所 〒182-0004 東京都調布市入間町2-28-20

電話 03-5787-7945

FAX 03-5490-5901

URL <http://www.daltonkyo.ed.jp/>

帰国生受け入れ開始年度 2019年(開校も同年)

2019年度帰国生在籍数 中学1年:2人 中学2年:0人 中学3年:0人 高校1年:0人 高校2年:0人 高校3年:0人

帰国生のための部署/担当 副校長 田邊則彦 先生 問い合わせ先 pub@daltonkyo.ed.jp

帰国生入試について(中学入試)					
出願資格・条件	原則として海外在留期間が継続して1年以上あり、帰国後2年以内である者。 (2019年度、2020年度は変更の可能性あり。以下、出願書類等についても同様)				
出願書類	通知表のコピー(6年生1・2学期または前期、もしくは出願時から過去1年分の成績と出欠が記されている公的な文書。) 海外で最後に在籍していた学校の在籍証明書、あるいは卒業証明書、その学校での最後の1年分の通知表。 教育等の履歴(指定フォーム) 海外在留証明書(指定フォーム)				
過去3カ年の応募状況		出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
	2019年	5	5	4	2
帰国生の編入試験について					
出願資格・条件	帰国生入試に準ずる。				
出願書類	帰国生入試に準ずる。				
募集	欠員のある学年が対象。				
実施時期	個別相談を踏まえて検討・決定する。				
クラス配置・一般生との位置づけ					
多様性を重視する本校では、帰国生と一般生、といった分け方をするのではなく、さまざまなバックグラウンドを持つすべての生徒たちが、同じクラス・同じハウス(異学年の生徒コミュニティ)で学び生活します。異なるものの見方や考え方をたがいに尊重する、自由な学びが保証された空間で、帰国生には海外生活で得た経験や視点、日本の常識にとらわれない発想をもたらしてくれることを期待しています。					
外国語・日本語の指導、取り出しや補習など					
英語の授業は、基本的に日本人教員と英語ネイティブ教員のチーム・ティーチングで行われます。通常25名の少人数クラスを、英語では2クラス3展開にしてさらに少人数で学びます。ネイティブ教員やオンラインによる英会話演習、多読など、それぞれの習熟度に合わせた学習方法を取り入れ、バランスよく4技能を伸ばします。英語初学者の目標はCEFRでB2レベルの英語運用能力獲得、帰国生をはじめとする英語既習者はさらに上級レベルをめざします。CEFR準拠のケンブリッジ英検を定期的受験し、英語力向上のベンチマークとします。苦手意識や不安を感じる教科の学習は、ラボラトリーの時間などを使って教員から個別指導を受けながら、自分のペースで進めることができます。					
入試に向けての事前準備や意識しておいてほしいこと					
本校では、授業や行事の準備でグループワークに取り組んだり、学んだことを発表したりというコミュニケーションの場をたくさん作ります。入試で行う面接でも、言われたことを聞き取り理解する力、自分の意見や考えが相手に伝わるように表現する力をどれだけ持っているかを確認します。普段からその点を心がけて生活して欲しいですし、自分が海外でどのような生活を送ってきたか、それがいまの自分にどのような影響をもたらしたかについて、自分の言葉で話せるようになっていて、さらによいと思います。入学後は、一部の授業を除いてすべての生徒が同じ授業を受けます。入試対策に限らず、国語や算数の基礎的な力をしっかりつけておくこと、先々で役に立つでしょう。					
帰国生の卒業後の進路・進学状況について					
(2019年度開校なので、進路・進学実績はありません)					
留学制度や海外大学進学支援体制について					
(現在検討・構築中です)					
帰国生や海外在住生徒保護者へのメッセージ					
「自由と協働」の理念の下、生徒一人ひとりの知的な興味や探求心を出発点として、その能力を最大限に引き出すのがドルトンプランの特長です。生活面でも、はじめから細かい校則で生徒を縛るのではなく、「中高生として、学び手としてどうあるべきか」を問いかけ、生徒が自分で考え判断することを促していく方針です。2019年4月に中等部1期生を迎えてスタートしたばかりですが、その分前例にとらわれず、新しいことにチャレンジできる学校です。創造性とコミュニケーションに満ちた学びを実現する最新の校舎を、ぜひ一度訪ねて来てください。					